

< 要 約 >

<問 1-1> あなたが応援したい人は誰ですか。その人の何を応援したいのですか。

- ◆ 全体トップは『こども』、親にとってはいくつになっても“こどもはこども”結婚をきっかけに、『自分自身』よりも『こども』や『配偶者』を優先

<問 1-2> 応援のために提供できる資金は？

- ◆ 全体平均は『372,363 円／年』、「男性>女性」、年齢とともに応援資金は増加『孫』への応援資金額は全体平均の2倍超えに

<問 2-1> あなたを一番応援してくれる人(=「現実の応援者」)は誰ですか？

- ◆ 全体1位は『配偶者』、夫の方が妻からの応援を感じている
20代~40代の応援団長は『母親』、『父親』は全体6位と貢献度が低い

<問 2-2> あなたが一番応援してほしい人(=「理想の応援者」)は誰ですか？

- ◆ 『配偶者』がダントツの1位、ただ“夫から妻”への応援は不足気味
『父親』・『母親』からのエールには大満足

<問 2-3> 「現実の応援者」・「理想の応援者」からの応援で、
あなたの元気度は何%アップしますか？

- ◆ 「現実の応援者」で『54.8%』、「理想の応援者」で『61.8%』の元気度アップ！

<問 3> どのような応援が一番嬉しいですか？

- ◆ 『称賛の言葉』がトップ、次いで『話をきく』『見守る』、
『叱咤激励』はノーサンキュー！？

<問 4> あなたが一番元気になる応援歌は何ですか？

- ◆ くじけそうになった時の定番ソング、全年代で『負けないで』が圧勝

<問1-1> あなたが応援したい人は誰ですか。その人の何を応援したいのですか。

(%)

位	応援したい人	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代
1	子ども	33.8	31.6②	36.0①	5.0	26.5②	44.0①	51.0①	42.5①
2	自分自身	27.2	32.0①	22.4②	45.0①	31.0①	24.0②	17.0②	19.0②
3	配偶者	13.8	11.6③	16.0③	13.0②	18.5③	14.0③	13.5③	10.0
4	母親	4.9	4.4	5.4	6.5	5.0	4.0	5.5	3.5
5	恋人	3.4	3.6	3.2	8.5③	3.5	2.0	1.0	2.0
6	父親	3.3	3.4	3.2	6.5	3.5	4.0	2.0	0.5
	孫		3.2	3.4	—	0.5	—	2.0	14.0③
8	友人	2.9	2.4	3.4	4.5	3.0	4.0	1.5	1.5
9	上司・部下・同僚	1.8	2.4	1.2	3.0	2.5	1.0	1.0	1.5
10	祖父母	0.6	0.6	0.6	2.0	—	0.5	—	0.5

※○内数字は順位

その他：全体 5.0%、男性 4.8%、女性 5.2%、20代 6.0%、30代 6.0%、40代 2.5%、50代 5.5%、60代 5.0%
兄弟姉妹、親戚、生徒、スポーツ選手、ミュージシャン、アイドル、なし等

◆ 全体トップは『子ども』、親にとってはいくつになっても“子どもは子ども”
結婚をきっかけに、『自分自身』よりも『子ども』や『配偶者』を優先

全体では『子ども』(33.8%)がトップとなりました。「健やかな成長」(男性・40代)をはじめ、「志望校に合格」(女性・50代)、「就職活動の成功」(男性・50代)、「新社会人生活」(男性・50代)、「子育て」(男性・60代)など、『子ども』の様々なライフイベントにエールが送られています。

2位は『自分自身』(27.2%)でした。「人生そのもの」(男性・30代)という壮大なテーマや、「就職活動」(女性・30代)、「仕事」(男性・50代)、「婚活」(男性・30代)、「介護」(女性・50代)、「終活」(男性・60代)など、目標や課題をクリアするために自身を励ます姿がみられます。

3位は『配偶者』(13.8%)で、「家族のためにがんばっている仕事」(女性・30代)や「子育て」(男性・20代)、「病気の克服」(男性・60代)など、パートナーへの“思いやり”が伝わってきます。

少し差があって、4位は『母親』(4.9%)、そして、『父親』は『恋人』にかなわず6位(3.3%)でした。『父親』・『母親』へは、「仕事」や「家事」の他に、「健康で長生き」(男性・50代)、「これからの充実した人生」(女性・30代)、「病気で入院。1日も早く元気になってほしい」(男性・20代)など、セカンドライフへの応援と、健康を気遣う声が寄せられています。

【「子ども」への応援(子どもがいる方のみ)】(%)

全体		男性		女性	
1位	60.8%	1位	59.2%	1位	62.3%

男女別のトップは、女性が『子ども』・男性が『自分自身』と相違がありましたが、子どもがいる方のみで比較すると、男女ともに約6割が『子ども』を選択し、1位を確立しています。子を想う気持ちは父も母も同じだと思いますが、子どもたちにどのように伝わるかは父母間で大きく差が出てくるようです(〈問2-1〉参照)。

20代・30代で1位の『自分自身』ですが、結婚とともに大きな変化が…。独身者・既婚者別に見ると、独身者では1位(55.1%)ですが、既婚者ではトップ2を『子ども』『配偶者』に譲り、14.5%まで下落しています。家庭を持つことで、自分以上に見守り、支えたい人が増えるということなのでしょう。

既婚者のみで2位に浮上した『配偶者』を男女別で比較すると、男性18.4%に対し女性は21.5%と、妻の応援が夫よりも3.1ポイント高い結果になりました。また、年代別の推移を右表で見ると、年齢とともに『配偶者』への応援がどんどん減少していくことがわかります。『子ども』『孫』へと票が流れることが要因ですが、パートナーのエールを一身に受けられる期間は、あまり長くはないようです。

【独身者・既婚者の比較】 (%)

位	独身者		既婚者	
1	自分自身	55.1	子ども	48.7
2	母親	8.7	配偶者	20.1
3	恋人	7.7	自分自身	14.5

【男女別「配偶者」への応援(既婚者のみ)】 (%)

男性	女性
18.4	21.5

【年代別「配偶者」への応援(既婚者のみ)】

	20代	30代	40代	50代	60代
位	1	2	2	2	4
%	49.1	30.6	18.5	15.2	10.8

<問1-2> 応援のために提供できる資金は？

【応援資金平均】

(円/年)

	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代
円	372,363	485,934	258,792	140,569	296,931	348,378	470,412	605,527

◆全体平均は『372,363円/年』、「男性>女性」、年齢とともに応援資金は増加 『孫』への応援資金額は全体平均の2倍超えに

全体平均は『372,363円/年』で、男女別では男性が女性の2倍近い金額になりました。また、年齢とともに応援資金は増加しており、応援者の経済力や応援対象者のライフイベントが影響していると思われます。

応援資金額では、2位の『子ども』に大差をつけて、『孫』がトップとなりました。かわいい『孫』の幸せを願うおじいちゃん・おばあちゃんの姿が想像できます。3位・4位の『母親』・『祖父母』には、病気やケガを克服するための援助資金が含まれています。1位～5位を見ると、お互いを思いやる、暖かい家族像があらわれました。

【応援資金額ランキング】

位	応援したい人	応援資金(円/年)
1	孫	780,912
2	子ども	466,253
3	母親	431,878
4	祖父母	391,667
5	配偶者	390,502
6	恋人	389,912
7	自分自身	323,618

<問2-1> あなたを一番応援してくれる人(=「現実の応援者」)は誰ですか？

(%)

位	現実の応援者	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代
1	配偶者	30.8	35.0①	26.6②	9.5③	27.0②	28.0②	40.5①	49.0①
2	母親	26.7	21.6②	31.8①	43.5①	28.0①	29.0①	21.5②	11.5③
3	自分自身	13.5	18.6③	8.4	13.5②	13.5③	14.5③	11.5③	14.5②
4	子ども	6.0	2.4	9.6③	—	6.5	7.0	8.5	8.0
5	友人	5.9	3.4	8.4	6.5	6.0	6.0	4.5	6.5
6	父親	5.5	5.8	5.2	7.0	7.5	4.5	5.5	3.0
7	恋人	3.4	3.8	3.0	8.5	4.0	2.0	1.0	1.5
8	上司・部下・同僚	1.6	2.8	0.4	1.5	2.0	2.0	1.0	1.5
9	祖父母	0.5	0.4	0.6	1.0	0.5	0.5	0.5	—
10	孫	0.2	0.2	0.2	—	—	—	—	1.0

※○内数字は順位

その他：全体 5.9%、男性 6.0%、女性 5.8%、20代 9.0%、30代 5.0%、40代 6.5%、50代 5.5%、60代 3.5%
兄弟姉妹、家族、親戚、先生、アーティスト、なし等

【独身者・既婚者の比較】 (%)

位	独身者		既婚者	
1	母親	36.2	配偶者	44.8
2	自分自身	22.8	母親	22.4
3	友人	10.3	自分自身	9.3
4	父親	7.1	子ども	8.4

【男女別「配偶者」からの応援（既婚者のみ）】 (%)

男性	女性
55.4	35.8

【年代別「配偶者」からの応援（既婚者のみ）】

	20代	30代	40代	50代	60代
位	2	1	1	1	1
%	35.8	44.6	37.1	45.5	53.0

◆全体1位は『配偶者』、夫の方が妻からの応援を感じている

20代～40代の応援団長は『母親』、『父親』は全体6位と貢献度が低い

全体では『配偶者』(30.8%)がトップで、既婚者のみでは44.8%と、夫婦の強い絆を感じる結果になりました。既婚者男女別で見ると、男性が55.4%と非常に高く、夫が妻からの応援を強く感じていることがわかります。また、<問1-1>では、年齢とともに配偶者への応援が減少する傾向がみられましたが、既婚者年代別データでは30代以上は1位を貫き、60代は最高の53.0%になっています。たとえ、パートナーの「応援したい人」が『子ども』や『孫』に移っても、自分への応援がなくなるわけではありません。日々の生活の中で、夫婦は互いにエールを送り、受け取っているということなのでしょう。

2位は、女性および20代～40代の応援団長である『母親』(26.7%)です。結婚後も22.4%と高い数字になっています。一方『父親』は全体で6位となり、『母親』と21.2ポイントの差をつけられました。<問1-1>では、父親の約6割が「応援したい人＝『子ども』」と回答していましたが、子どもたちにはその想いがあまり届いていないようです。

＜問2-2＞ あなたが一番応援してほしい人（＝「理想の応援者」）は誰ですか？

(%)

位	理想の応援者	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代
1	配偶者	36.3	36.2①	36.4①	20.0①	34.5①	34.5①	43.0①	49.5①
2	自分自身	14.1	18.2②	10.0	18.5②	10.5	15.5③	15.0③	11.0③
3	子ども	13.4	10.4③	16.4②	2.0	10.0	18.5②	19.0②	17.5②
4	母親	9.6	6.4	12.8③	15.0	14.0②	8.0	7.0	4.0
5	恋人	9.0	10.2	7.8	17.0③	12.5③	7.5	4.0	4.0
6	友人	5.9	5.8	6.0	9.5	6.5	4.0	3.5	6.0
7	上司・部下・同僚	2.5	3.6	1.4	3.0	3.0	3.5	1.5	1.5
8	父親	2.1	1.6	2.6	5.0	3.0	0.5	1.0	1.0
9	孫	0.4	0.6	0.2	—	—	—	—	2.0
10	祖父母	0.3	0.6	—	1.0	—	—	0.5	—

※○内数字は順位

その他：全体6.4%、男性6.4%、女性6.4%、20代9.0%、30代6.0%、40代8.0%、50代5.5%、60代3.5%
親戚、スポーツ選手、アイドル、なし等

◆『配偶者』がダントツの1位、ただ“夫から妻”への応援は不足気味
『父親』・『母親』からのエールには大満足

全体のトップは『配偶者』、2位は『自分自身』、3位は『子ども』と続きました。「現実の応援者」＜問2-1＞と比較すると、『母親』と『父親』が下がっています。生まれてからずっと見守ってくれている存在に、子どもたちは感謝するとともに、十分満足しているということなのでしょう。

「現実の応援者」から2倍以上もポイントが上昇したのは『子ども』と『恋人』でした。

【「現実の応援者」＜問2-1＞との比較】

位	現実の応援者 (%)		理想の応援者 (%)	
1	配偶者	30.8	配偶者	36.3
2	母親	26.7	自分自身	14.1
3	自分自身	13.5	子ども	13.4
4	子ども	6.0	母親	9.6
5	友人	5.9	恋人	9.0
6	父親	5.5	友人	5.9
7	恋人	3.4	上司・部下・同僚	2.5
8	上司・部下・同僚	1.6	父親	2.1
9	祖父母	0.5	孫	0.4
10	孫	0.2	祖父母	0.3

【男女別「配偶者」からの応援の理想と現実（既婚者のみ）】 (%)

	全体	男性	女性
現実の応援者	44.8	55.4	35.8
理想の応援者	52.8	57.3	48.9
差	-8.0	-1.9	-13.1

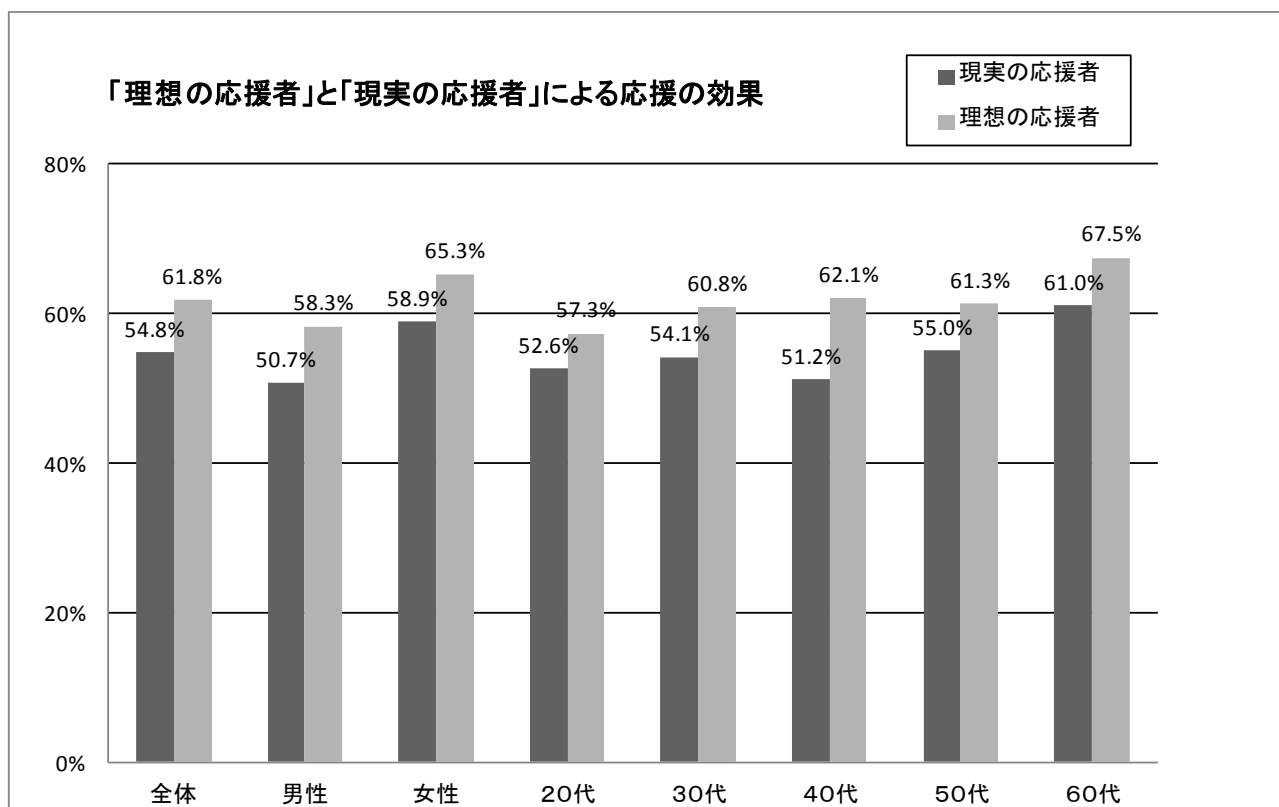
既婚者のみの『配偶者』を比較すると、男女ともに「現実の応援者」が「理想の応援者」を下回っています。特に女性は13.1ポイント差で、“夫から妻”へのエールが不足していることが

うかがえます。また、年代別でも、全ての年代で「現実の応援者」が「理想の応援者」を下回りましたが、その差は20代から60代にかけて徐々に減少していきます。歳月とともに、お互いの応援は満たされていくのでしょうか。

【年代別「配偶者」からの応援の理想と現実（既婚者のみ）】（%）

	20代	30代	40代	50代	60代
現実の応援者	35.8	44.6	37.1	45.5	53.0
理想の応援者	75.5	57.0	45.7	48.3	53.5
差	-39.7	-12.4	-8.6	-2.8	-0.5

＜問2-3＞「現実の応援者」・「理想の応援者」からの応援で、あなたの元気度は何%アップしますか？



◆「現実の応援者」で『54.8%』、「理想の応援者」で『61.8%』の元気度アップ！

「現実の応援者」による応援では、全体平均で『54.8%』アップという結果になりました。男女別では、男性平均『50.7%』に対して女性平均『58.9%』と、女性の方が効果大のようです。また、「理想の応援者」による効果と比較すると、男女別・年代別のすべてにおいて、「現実」よりも「理想」が勝る結果となりました。

<問3> どのような応援が一番嬉しいですか？

(%)

位	方法	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代
1	称賛の言葉	24.0	25.0 ①	23.0 ②	29.5 ①	25.0 ①	23.0 ①	23.5 ①	19.0 ②
2	話をきく	21.0	16.2 ③	25.8 ①	20.0 ②	22.5 ②	17.0 ③	22.5 ②	23.0 ①
3	見守る	16.9	17.4 ②	16.4 ③	10.5	20.5 ③		17.5 ③	19.0 ②
4	手伝う	12.3	8.6	16.0	9.5	9.0	18.0 ②	11.5	13.5
5	物・お金による支援	10.0	12.6	7.4	11.5 ③	10.5	8.5	9.5	10.0
6	手紙（電子メール）	3.6	3.2	4.0	6.5	4.0	3.5	2.0	2.0
7	叱咤激励	3.0	5.2	0.8	4.0	2.5	1.5	4.0	3.0

※○内数字は順位

[その他：全体 9.2%、男性 11.8%、女性 6.6%、20代 8.5%、30代 6.0%、40代 11.5%、50代 9.5%、60代 10.5%]

◆『称賛の言葉』がトップ、次いで『話をきく』『見守る』、 『叱咤激励』はノーサンキュー！？

全体では、『称賛の言葉』が24.0%でトップとなりました。一方、『叱咤激励』はわずか3.0%となり、褒める方が望まれているようです。

2位は『話をきく』（21.0%）、3位は『見守る』（16.9%）と続き、『物・お金による支援』（10.0%）よりも、身近な距離での精神的なフォローが求められています。

男女別のトップは、男性は『称賛の言葉』（25.0%）、女性は『話をきく』（25.8%）になりました。また、『手伝う』は、女性（16.0%）が男性（8.6%）のほぼ倍になっており、育児・家事等へのニーズが高いようです。

年代別では、20代～50代で『称賛の言葉』が、60代で『話をきく』（23.0%）が1位になっています。経済的自立を目指す20代の3位に『物・お金による支援』が、公私ともに忙しい40代の2位に『手伝う』がランクインしたことも特徴です。

＜問4＞ あなたが一番元気になる応援歌は何ですか？

〔全体〕		(敬称略)
位	曲名(歌手名)	票
1	負けないで (ZARD)	86
2	ガッツだぜ!! (ウルフルズ)	14
3	三百六十五歩のマーチ (水前寺清子)	13
4	栄光の架橋 (ゆず)	11
5	ファイト! (中島みゆき)	8
6	上を向いて歩こう (坂本九)	7
	愛は勝つ (KAN)	
	終わりなき旅 (Mr.Children)	
9	ありがとう (いきものがかり)	6
	TOMORROW (岡本真夜)	
	どんなときも。(槇原敬之)	

〔男性〕		
位	曲名	票
1	負けないで	49
2	ガッツだぜ!!	6
	三百六十五歩のマーチ	

〔女性〕		
位	曲名	票
1	負けないで	37
2	栄光の架橋	9
3	ガッツだぜ!!	8
4	三百六十五歩のマーチ	7
5	TOMORROW	6

	[20代]	[30代]	[40代]	[50代]	[60代]	(敬称略)				
	曲名(歌手名)	票	曲名(歌手名)	票	曲名(歌手名)	票				
1	負けないで	10	負けないで	22	負けないで	23	負けないで	20	負けないで	11
2	ガッツだぜ!!	3	ガッツだぜ!!	4	ガッツだぜ!!	5	栄光の架橋	5	三百六十五歩のマーチ	7
3	終わりなき旅		それが大事 (大塚MANGガズバド)	4	ファイト!	3	ファイト!	4	上を向いて歩こう	4
4	ありがとう		終わりなき旅	3	何度でも (DREAMS COME TRUE)		3	どんなときも。	3	時の流れに身をまかせ (テレサ・テン)
5	ヒーロー (FUNKY MONKEY BABYS)	がんばりましょう (SMAP)	3	三百六十五歩のマーチ		糸 (中島みゆき)				

◆くじけそうになった時の定番ソング、全年代で『負けないで』が圧勝

全体・男女別・年代別で、『負けないで』が2位以下に大差をつけてトップに輝きました。1993年リリースのヒット曲で、今でもテレビ番組のスポーツシーンなどに起用されるなど、定番の応援ソングとなっています。2位は『ガッツだぜ!!』(14票)で、20代~40代で高い支持を得ています。パワフルな曲調と歌詞が、聞く人に力を与えるようです。3位は『三百六十五歩のマーチ』でした。1968年発売の国民的ヒット曲で、60代では2位にランクインしています。その他、『栄光の架橋』や『上を向いて歩こう』など、誰もが一度は耳にしたことのある曲がトップ10入りしました。

年代別の結果に違いは出たものの、多くの人が音楽に励まされながら生きてきた様子がうかがえます。これからも、応援する人・応援してくれる人・元気になる曲やモノに、たくさん出会っていききたいものです。

以上